



József Karai (1927年11月8日-2013年9月7日)

ヨージェフ・カライは1927年11月8日、ブダペストに生まれた。彼は故郷のリスト音楽院にて、作曲、指揮、ピアノをファルカシュ・フェレンツに師事。オペラ劇場指導員、および合唱指揮者として働いた。1969年からカライは作曲家としてブダペストに住んでいる。彼の作品は世界中で知られており、ドイツ、アメリカ、フィンランド、日本、ロシアその他の国で出版された。

彼は特に合唱作品に力を注ぎ、ハンガリーの詩を用いた合唱曲をおよそ200曲書いた。彼はまたラテン語、英語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語など様々な言語の詩を用いた。彼は偶然性・即興性および繰り返しの技術を取り入れることで合唱音楽を新しくした人物として知られているが、常に人間の声の可能性について注意を払っていたと考えられる。

合唱曲のほか、管弦楽曲、室内楽、声楽曲も作曲。

日本で演奏される主な合唱作品は、De profundisのほか、Stabat Mater、Alleluja など。

※プロフィールは下記のサイトを参考にしました。

https://www.ph-publishers.com/autor_info.php?manufacturers_id=59

<https://www.stabatmater.info/componist/karai/>

《音源》

De profundis

<https://www.youtube.com/watch?v=oU10Eo9fA8Y>

Stabat Mater

<https://www.youtube.com/watch?v=3WayB2ujS7c>

Alleluja

<https://www.youtube.com/watch?v=uskclzlrw3g>

《歌詞について》

歌詞は詩篇130篇のラテン語版。読み方と日本語訳は別紙（デプロ歌詞.docx）参照。

詩の詳しい意味については下記のHPなどを参照。

<https://www.bfpj.org/know/bible/?id=29>